2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位(90時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)　診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	1. 病院での注意と心得 2. 事故防止と感染について 3. 診療放射線技師の責任と医療事故について 4. 患者様のプライバシーなどの守秘義務について		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	必要な物品と準備について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	1. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理①		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理②		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理③		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理④		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑤		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑥		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑦		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑧		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑨		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑩		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	治療装置の原理・構造・操作方法及び管理⑪		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解①		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解②		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	診療放射線技師学科（夜間部）		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位（90時間）

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)　診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解③		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解④		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑤		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑥		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑦		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑧		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑨		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑩		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	各照射法の代表的疾患及び線量分布の理解⑪		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解①		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑥		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位(90時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑦		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑧		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑨		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑩		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療計画の実際についての理解⑪		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解①		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解②		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解③		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解④		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑤		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑥		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑦		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑧		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑨		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑩		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位(90時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	線量測定及び線量計算法に関する理解⑪		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録①		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録②		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録③		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録④		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑤		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑥		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑦		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑧		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑨		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑩		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療の記録・装置点検の記録⑪		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録①		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録②		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録③		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	診療放射線技師学科（夜間部）		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位（90時間）

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)　診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録④		
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑤		
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑥		
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑦		
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑧		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑨		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑩		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源の保管・管理・記録⑪		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解①		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解②		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解③		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解④		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑤		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑥		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑦		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　実務経験5年以上			

《授業科目における学習内容》

放射線治療に関する業務の習得に関わる実習　2単位(90時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)　診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑧		
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑨		
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑩		
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	密封小線源を用いた腔内、組織内照射法の理解⑪		
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療(放射線との併用療法)の理解①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解②		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解③		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解④		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑤		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑥		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑦		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑧		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑨		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	集学的治療（放射線との併用療法）の理解⑩		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	放射線治療について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師としての放射線治療に関わる業務の習得の確認		